

# 大阪SJCD第181回例会

日時 平成24年2月5日（日） 10:00～16:00

場所 北浜フォーラム（大阪証券取引所ビル）

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1丁目8-16

ケースプレゼンテーション

Dr. 宇根岡大典 「咬合再構成におけるプロビジョナルレストレーションの役割」

Dr. 山口真一郎 「咬合再構成を行なった1症例」

DT.谷本一道 「審美エリアにおけるインプラント上部構造の考察」

Dr.加藤泰二 「Immediate Implantを用いた前歯部審美修復 ー埋入深度から考察するー」

Dr. 武井則之 「上顎洞隔壁に的確な埋入をしたソケット・リフトの症例」

Dr. 加來慶久 「GPにおける成人矯正治療の位置づけと留意点」

オブザーバー費：事務局宛メールにて：sjcd@aurora.ocn.ne.jp

大阪SJCD会員 無料

大阪以外のSJCD会員 Dr. ¥10000 Tec. Hyg ¥5000 （昼食代込）

非会員 Dr. ¥30000 Tec. ¥15000 Hyg ¥10000 （昼食代込）

<<<大阪SJCD衛生士セッション>>> 10:00～12:30 【協賛：大阪経済大学北浜キャンパス】

参加資格：大阪SJCD個人会員、医院登録衛生士会員のみ  
(※※※ オブザーバーは不可)

参加費：無料

DH. 佐伯里美 「女性の環境変化に対する歯科衛生士としてのアプローチ」

DH. 池村和賀代 「今の自分に出来る事」

DH. 藤田令衣 「患者さまと共に ～歯科衛生士の私達にできる事～」

DH. 緒方千秋 「患者さんと共に考える歯周治療」

\*\*\*\*\*

DH. 佐伯里美 (デンタルクリニック サンタクルス)

「女性の環境変化に対する歯科衛生士としてのアプローチ」

女性は、結婚・出産・育児・介護、これらと仕事の両立など、それぞれのライフステージで身体と生活環境の変化を受けることが多いと思います。それに伴って起こる口腔内環境の変化を私たちは解りやすく説明し、患者様と二人三脚で改善へと歩むべく取り組んでいる口腔内ケアやアドバイスをご紹介します。

DH. 池村和賀代 (こばやし歯科クリニック)

「今の自分に出来る事」

歯科衛生士になり2年目になりました。まだまだ未熟で勉強の毎日です。そんな中で少しずつではありますが、さまざまな患者様の担当をさせていただくようになり、ますます苦戦する日々を過ごしております。1人1人の患者様の口腔内はもちろんの事、性格、生活背景もいろいろで、その方にあった衛生士業務や接し方はとても難しい事だと痛感しています。その中で、今回発表させていただく症例は、通常のプラークコントロールでは改善しにくかったケースです。既往歴に高血圧症があり、服用薬の中に副作用が歯肉にあらわれる薬剤がありました。服用薬の変更を指示し歯肉の改善がみられ初期治療を行っている症例です。プラークコントロールの重要性、患者様自身の一つ一つの変化にしっかり気づくということの大切さ、また自分自身の技術向上を常に追及していく必要性を改めて考えさせられました。まだ治療途中ではありますが、現状までの過程を報告させていただきます。

DH. 藤田令衣 (なかやま歯科)

「患者さまと共に ~歯科衛生士の私達にできる事~」

患者さまにとって歯科衛生士とは、どのような存在であるべきなのでしょう。口腔内の状態は様々でも、患者さまに共通する事は『おいしく食事ができ、健康で長生きしたい』という願いだと思います。全顎的な治療やインプラント治療をされる方において、歯科衛生士は長期的なモチベーションの維持や口腔内のケアが必要とされます。治療中はもちろん、メンテナンス移行後においても少しの変化を見逃さず、視野を広くし患者さまに歩み寄りなければならないと思います。そして口腔内の健康だけでなく、全身の健康へのアプローチを行うことも私達歯科衛生士の役割ではないかと考えています。今回は歯科衛生士の立場から、どのような全身の健康へのお手伝いができるのか、症例を通して報告したいと思います。

DH. 緒方千秋 (吉竹歯科医院)

「患者さんと共に考える歯周治療」

重度の歯周疾患に罹患し、殆どの歯牙が保存不可能との診断を受けた患者さん達は、その事実を中々受け入れることが出来ません。そのような状況から抜け出して、自分自身の口腔内を理解し、治療方法を受け入れられるようになるには、私たち衛生士の果たす役割は非常に重要だと考えています。今回は患者さんの理解を得るためにどのように患者さんと接し、また衛生士としての歯周治療を進めたかを、2 ケースを通して発表させ

て頂きます。